

システム変更等のお知らせ

(2020.1.9 – 2020.3.6 変更)

1. ハードウェア

- 1.1 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.2 Oakforest-PACS スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.3 Reedbush スーパーコンピュータシステム (Reedbush-U/H/L) … なし

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX)

GNU Compiler Collection (gcc)	7.5.0	(2020.01.31)
-------------------------------	-------	--------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 RedHat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakforest-PACS)

GNU Compiler Collection (gcc)	7.5.0	(2020.01.31)
-------------------------------	-------	--------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.3 RedHat Enterprise Linux 7 (Reedbush-U/H/L)

boost	1.7.1	(2020.01.10)
Anaconda3	2019.10	(2020.01.31)
Open MPI (UCX,CUDA10,GNU 版)	4.0.1	(2020.01.31)
HyperWorks	2019.1	(2020.01.31)
Singularity	3.5.2	(2020.02.28)

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのドキュメント閲覧より利用手引書または各資料をご覧ください。

3. その他

3.1 Reedbush-U サービス終了について

Reedbush-U スーパーコンピュータシステムは 2020 年 6 月 30 日 9:00 をもってシステムを停止し、すべてのサービスを終了致します。なお、Reedbush-H/L は 2020 年度について運用を継続します。追加情報について決まり次第 Web ページ、メール、スーパーコンピューティングニュースにて順次ご連絡致します。

Reedbush-U サービス終了にあたっては以下の点にご注意ください。

- サービス終了後のスーパーコンピュータのご利用につきましては Oakbridge-CX、Oakforest-PACS、Reedbush-H/L をご検討ください。
- 一般利用にて Reedbush-U をご利用の方は「トークン移行」を行うことが可能です。Oakbridge-CX、Oakforest-PACS への移行をご検討の利用者様につきましては「トークン移行」も併せてご参考ください。「トークン移行」についての詳細は Web ページ(https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/guide/application/transfer_token.php)をご参照ください。

- 6月30日9:00の時点にて、Reedbush-Uのキューに残存するジョブはすべて削除致します。
- 利用期間が6月30日までの利用者様のアカウントにつきましては、7月31日9:00までを利用者様による移行及びバックアップ期間として利用可能と致します。
- 上記期間におきましては、該当の各利用者様は各自のアカウントを用いてログインノードにログインし、ファイルにアクセスすることができますが、ジョブを実行し、残トークンを消費することはできません。なお、ログインノード上におきましてジョブを実行した場合は予告無く削除致しますのでご了承ください。
- 上記期間以降に利用期間が6月30日までの利用者様のアカウントの削除作業を実施致します。これ以降ファイルの復旧はできませんのでご注意ください。
- 6月30日以降Reedbush-H/Lもご利用の利用者様につきましては、移行及びバックアップ期間やファイル削除処理の対象とはなりません。

3.2 Reedbush におけるモジュール変更のお知らせ(2020年4月～)

Reedbush システムにおいて、3月31日(火)9:00からの年度末作業において Infiniband ドライバの更新を実施します。これに伴い旧ドライバを使用して作成された MPI ライブラリ(Open MPI、MVAPICH2、HPC-X)及び、それらを利用してビルドされたアプリケーションを廃止し、新しく構築し直します。

3月以前に上記の MPI ライブラリを利用してビルドされたプログラムは、新しい MPI ライブラリで再ビルドしていただくようお願いいたします。

廃止及び追加モジュール等の詳細は Reedbush 利用支援ポータルをご覧ください。

- Reedbush 利用支援ポータル「ドキュメント閲覧」-「Reedbush システムモジュール変更のお知らせ」(<https://reedbush-www.cc.u-tokyo.ac.jp/>)